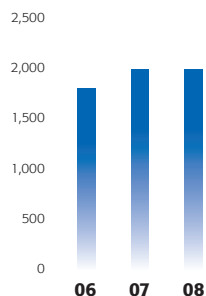


営業の概況

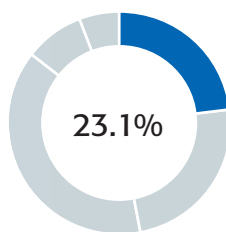
電子素材部品部門

電子材料

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2008年3月期

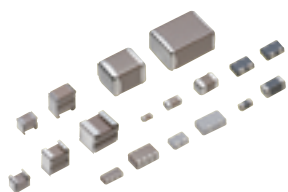


当製品区分は「コンデンサ」、「フェライトコア及びマグネット」の2つで構成されます。

当製品区分の売上高は、2,001億1百万円(前期1,992億43百万円、前期比0.4%増)となりました。

「コンデンサ」:売上高は前期比で微増でした。主要品目である積層セラミックチップコンデンサがパーソナルコンピュータ(以下、PC)向けや携帯電話向けで減収となりましたが、自動車市場他にて販売を増加させたことが要因です。

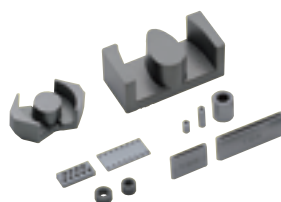
「フェライトコア及びマグネット」:売上高は前期比で増加しました。マグネットの増収がフェライトコアの減収を補いました。



コンデンサ

電気を蓄える機能を持った回路素子で、セラミックス誘電体と内部電極となる金属とを交互に積層し、焼成したものです。

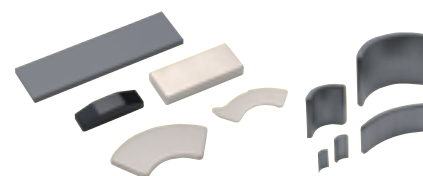
小型で高周波特性が良いため、携帯電話や薄型テレビなどに大量に使用されています。



フェライトコア

酸化鉄にマンガン、ニッケル、亜鉛などを配合して焼結した酸化物系磁性材料です。

高周波での損失が少ないため、電源回路のトランスやコイルなどの磁心に多用されています。



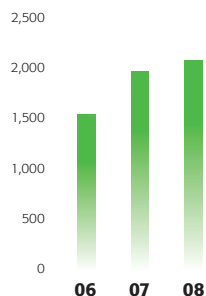
マグネット

当製品は大きくフェライト磁石と金属磁石で構成されています。

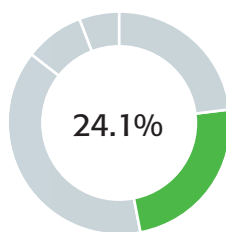
フェライト磁石は、酸化バリウムや酸化鉄を主成分とする原料を成型して焼結したものです。

金属磁石は、サマリウムやネオジムなどの希土類元素と鉄を主成分とする永久磁石です。

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2008年3月期



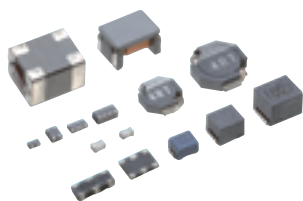
当製品区分は「インダクティブ・デバイス」、「高周波部品」及び「その他」の3つで構成されます。

当製品区分の売上高は、2,090億89百万円(前期1,981億99百万円、前期比5.5%増)となりました。

「インダクティブ・デバイス」:売上高は前期比で増加しました。薄型テレビ向け電源系コイル及び信号系コイルの販売、自動車市場にてコモンモードフィルタの販売が各々増加したことが主な要因です。

「高周波部品」:売上高は前期比で増加しました。PC向けの販売が増加したことが主な要因です。

「その他」:売上高は前期比で減少しました。センサ・アクチュエータは売価下落を主要因として減収、また、電源製品は一部製品の終息もあり微減収となりました。

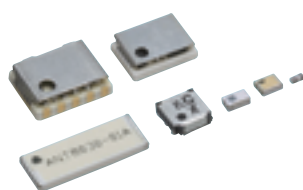


インダクティブ・デバイス

当製品は大きくコイル(インダクタ)、EMC対策部品で構成されています。

コイル(インダクタ)は、フェライトコアに導線をらせん状に巻いた巻線タイプ、印刷法によってパターン形成した積層タイプのほか、薄膜形成技術によりパターン形成した薄膜タイプがあります。

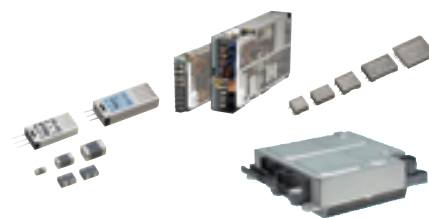
EMCはElectromagnetic Compatibilityの略で、電子機器から発生する電磁ノイズの問題を解決するための電子部品がEMC対策部品です。



高周波部品

主に携帯電話などの高周波回路に使用される部品です。

アイソレータ、VCO、ダイプレクサなど、多種の製品を取り扱っています。



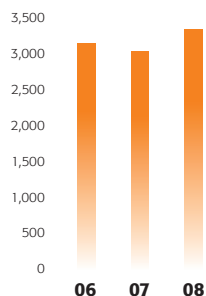
その他

当製品は大きく電源製品、センサ・アクチュエータで構成されています。

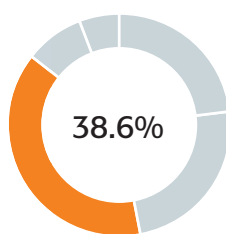
電源製品には、交流(AC)入力を直流(DC)出力に変換するスイッチング電源、逆に直流入力を交流出力に変換するDC-ACインバータ、直流電圧の昇降圧を行うDC-DCコンバータ、そして交流電圧の昇降を行うトランスがあります。

センサ・アクチュエータには、静電気対策に有効なバリスタ、温度・湿度・トナー濃度などを測定するセンサ、圧電プザーに代表されるアクチュエータが含まれます。

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2008年3月期

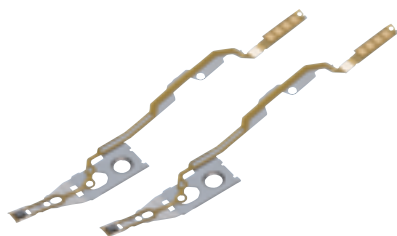


当製品区分は「HDD用ヘッド」、「その他」の2つで構成されます。当期、「その他ヘッド」の名称を「その他」に変更しました。その理由は、当区分にサスペンションメーカーMPT社の売上高を含めたためです。

当製品区分の売上高は、3,347億34百万円(前期3,048億22百万円、前期比9.8%増)となりました。

「HDD用ヘッド」:売上高は前期比で増加しました。HDDの生産台数がPC向けの伸びを背景に増加、加えてHDDの記録大容量化に伴い、HDD用ヘッドの販売数量が増加したことが要因です。

「その他」:売上高は前期比で増加しました。2007年11月に子会社化したMPT社の売上高を当期から加えたことにより、その他のヘッドの減収を補いました。



HDD用ヘッド

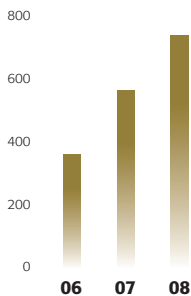
HDD用ヘッドは、HDDにおいて信号をハードディスク(メディア)に書き込んだり読み出したりするものです。

記録密度の向上に伴い、読み出し用のGMR (Giant Magnetoresistive) 素子は、より高感度のTMR (Tunneling GMR) 素子に置き換わりつつあります。また、垂直記録対応ヘッドも増えています。

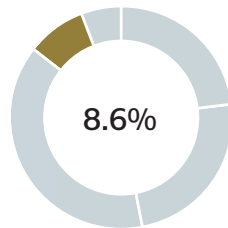
電子素材部品部門

その他電子部品

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2008年3月期



当製品区分は、前記3製品区分を除く電子素材部品部門すべての製品を含みます。代表的な製品は「電波暗室」、「メカトロニクス(製造設備)」及び「エネルギーデバイス(二次電池)」です。

当製品区分の売上高は、741億91百万円(前期565億57百万円、前期比31.2%増)となりました。

電波暗室及びエネルギーデバイスの増収、その他新製品の販売が好調に推移したことが要因です。

有機ELディスプレイ

電流を流すと自ら発光する有機材料を利用したディスプレイです。

電波暗室

電磁波ノイズの測定のため、外部から遮断された電波環境を設定する構築物です。

メカトロニクス

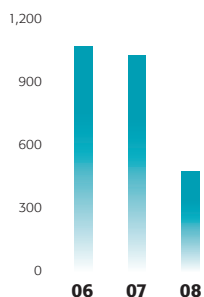
外販用の製造設備です。

エネルギーデバイス

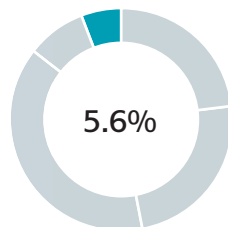
電解質にゲル状の高分子(ポリマー)を使用した二次電池(充電して繰り返し使える電池)です。

記録メディア製品部門

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2008年3月期



当部門の売上高は、481億70百万円(前期1,032億4百万円、前期比53.3%減)となりました。2007年8月にTDKブランド記録メディア販売事業を譲渡したことにより、売上高は前期比で大きく減少しました。

「オーディオ・ビデオテープ」:売上高は前期比で減少しました。販売事業譲渡による影響のほか、情報記録のデジタル化に伴い、需要が縮小していることも要因です。

「光メディア」:売上高は前期比で減少しました。ブルーレイディスクの売上高は増加しましたが、販売事業譲渡による影響でCD-R・DVDの売上高が減少したことが要因です。

「その他」:売上高は前期比で減少しました。コンピュータ用データストレージテープのLTO (Linear Tape-Open)*は需要増に伴い増収となりましたが、販売事業譲渡による影響でアクセサリ製品他は減収となりました。

* Linear Tape-Open、LTO、LTOロゴ、Ultrium、Ultriumロゴは、Hewlett-Packard Company、IBM Corporation、Quantum Corporationの米国及びその他の国における商標です。

その他

急激に増大する電子情報を保存するためにLTO (Linear Tape-Open)と呼ばれる規格のデータストレージテープを製品化しています。